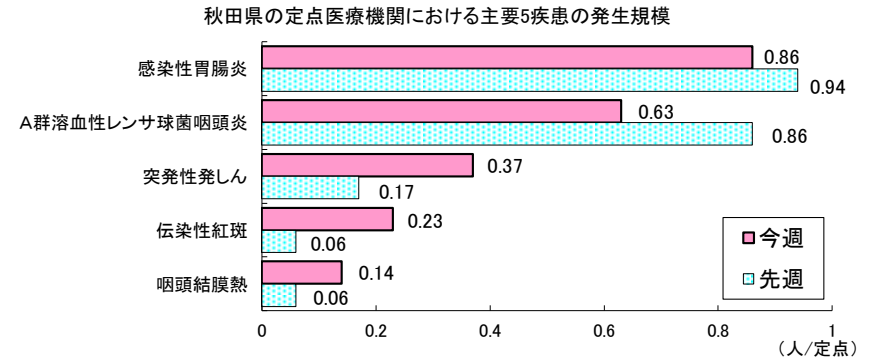




【第21週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で9%減少しています。保健所別では、秋田市、北秋田、横手で増加、大仙、湯沢で同規模、大館、能代、秋田中央で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で27%減少しています。保健所別では、北秋田、横手で増加、秋田市、能代、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で2.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代で増加、大仙で同規模、秋田中央、湯沢で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減			
RSウイルス感染症	0.03		↘																					0.33		↘				
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.14	↗	0.14	0.43	↗													0.50	↗							0.25	↘		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	0.63	↘	0.86	0.71	↘				2.50	↗	1.33	0.33	↘	1.75	1.50	↘				2.75	0.75	↘		0.33	↗	0.50	0.25	↘	
感染性胃腸炎	0.94	0.86	↘	1.29	1.43	↗	1.25	0.50	↘		0.50	↗	1.67	1.00	↘	2.00	1.75	↘			0.50	0.50		0.33	0.67	↗	0.75	0.75		
水痘	0.03	0.03			0.14	↗													0.25	↘										
手足口病	0.03	0.03								0.50	↗					0.25	↘													
伝染性紅斑	0.06	0.23	↗																0.25	↗	0.50	1.75	↗							
突発性発しん	0.17	0.37	↗	0.14	0.43	↗	0.50	0.75	↗		2.00	↗		0.67	↗	0.25	↘				0.25	0.25					0.25	↘		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.06	0.03	↘				0.25	0.25		0.50	↘																			
川崎病																														
急性出血性結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*		*	*							1.00	↗	*	*			
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗													*	*		1.00	↗										
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつがが虫病が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が能代保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患> (人)

類型	疾患名	1週-20週		21週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	6177	29	1
二類	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群 中東呼吸器症候群			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	40		
	腸管出血性大腸菌感染症	378	8	
	腸チフス	16		
	パラチフス	7		
四類	E型肝炎	208	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	57		
	エキノкокクス症	7		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	ギャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	18		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-20週		21週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つがが虫病	70	2	1
	デング熱	40		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニバウイルス感染症			
	日本紅斑熱	37		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	12		
	野兔病			
	ライム病	2		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	483	5		
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	228		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	99	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	552	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	13		
	急性脳炎	263	4	
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	45	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	321	2	
	後天性免疫不全症候群	358	1	
	ジアルジア症	13		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	144		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	11		
	侵襲性肺炎球菌感染症	885	8	
	水痘(入院例に限る)	138	3	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	2014	20	1
	播種性クリプトコックス症	43	1	
	破傷風	35	1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	46		
百日咳	2388	9		
風しん	74			
麻しん	9			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	3			
指定	新型コロナウイルス感染症	15892	16	

トピック

<動物由来感染症について>

動物由来感染症は動物からヒトに感染する病気の総称で、世界保健機構(WHO)が確認しているだけでも200種類以上存在します。一部の疾患は感染症法にも規定され、発生した場合に必要な措置や医師からの届出について定められています。身近なペット等から感染することもありますので(表)、動物との節度あるふれあいを心掛け、感染予防に努めましょう。

■予防

- ・動物に触れた後はよく手を洗いましょう。
- ・咬まれたり、引っ掻かれたりしないように注意しましょう。
- ・エサの口移しなどの濃厚な接触は避けましょう。
- ・ペットの飼育環境は清潔に保ち、ペットの健康状態に気を付けましょう。

(参照) 厚生労働省 動物由来感染症ハンドブック2020

表 身近にみられる主な動物由来感染症

由来	疾患名	病気の特徴(症状)	感染経路・感染状況
犬や猫	コリネバクテリウム・ウルセランス感染症	感染初期には、風邪様症状 ジフテリアと同様に扁桃や咽頭などに偽膜形成や 白苔を認めることがある	感染している犬や猫との接触や飛沫により感染
	ブルセラ症	軽症では、発熱や倦怠感など 妊娠中の女性に感染すると、胎児に重篤な健康被害が生じる	国内の犬の3~5%が感染
カメ等は虫類	サルモネラ症	胃腸炎(下痢、腹痛、発熱など) まれに髄膜炎など	は虫類等との接触により感染
鳥	オウム病	咳や痰を伴う突然の発熱 頭痛や全身倦怠感などのインフルエンザ様症状	インコやオウム等の糞に含まれる菌を吸い込んだり、口移しでエサを与えることによって感染

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
五城目町	もりやまこども園	5/18	155名のうち56名	50名のうち1名	57名	5/13 ~ 5/18	発熱、咳、鼻汁

つがが虫病情報

つがが虫病の発生報告が1件ありました。

事例No.	届出日	住所	年齢	性別	症状	感染経路(推定)
3	5/21	湯沢保健所管内	70代	女性	頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発疹、刺し口(右臀部)	山菜採り

\*届出は横手保健所(医療機関の管轄保健所)



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		